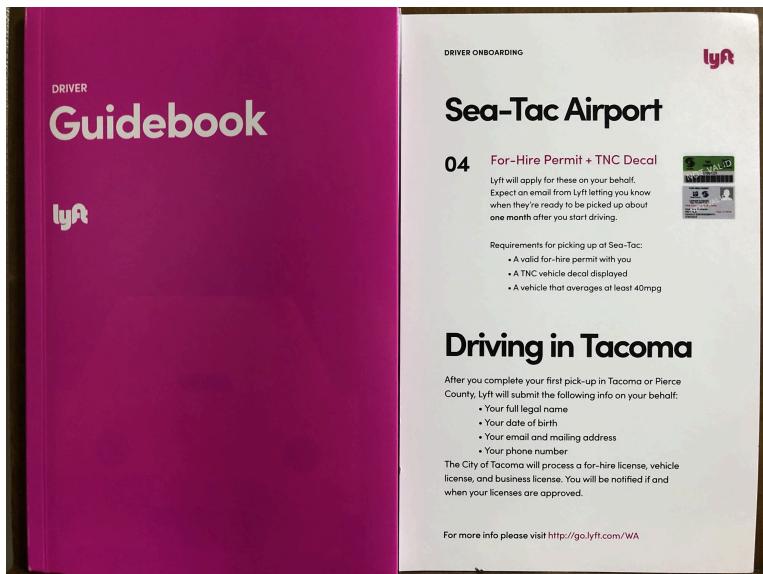




# 谷口博文の政策イノベーション

Date : 2019年 2月 6日

## No.009 過疎地の移動手段をどう確保する？ ライドシェアサービスを導入せよ



田舎に行けば行くだけ、通勤、通学、通院、買い物、毎日の生活はマイカーなしでは成り立ちません。子供達も高齢者も、家族の大きな負担によってなんとか日常生活が成り立つ現状を変えられないのか。従来の鉄道、バス、タクシーでうまくいかないのなら、他の方法はないのか。

実際にはマイカーや軽トラックはたくさん走っています。ところがお金を払って乗せてもらうと、白タク行為で違法なのです。

今や乗りたい人と乗せてあげる人を結びつけるアプリは、世界中で誰でも使えます。相乗りした時の最適コースの選択も、コンピューターがあっという間に計算してくれます。こういうテクノロジーは極めて安価に利用できるのに、日本では活用されません。これは道路運送法の制度及び運用の問題です。

地域住民を交え、地元のバス会社とタクシー会社が技術のわかるベンチャーと一緒にになり、県が責任を持って国土交通省と協議をすれば、確実に道が開けます。必要なら国家戦略特区を提案するなり、法律、政省令を改正するなり、すればいいのです。

問題を放っておくわけにはいきません。